

2018年度 地球惑星環境科学科リモートセンシング・GISおよび実習 前半 (GIS)

日程 2019/2/6, 7, 8

- 2/6(水) : 2～5限
10:00-12:00 講義
13:00-17:00 実習 : GIS入門
 - 1.QGIS入門
 - 2.既存データの取得と変換
- 2/7(木) : 2～5限 : ベクタデータ分析入門
10:00-12:00 講義
13:00-17:00 実習
 - 1.空間座標系の変換
 - 2.基本的な空間解析 (ディゾルブやクリップ等)
 - 3.領域分析 (バッファ)
 - 4.点データの分析 (メッシュ集計、カーネル密度推定)
 - 5.空間データの作成・編集・統合・変換 (ベクタのみ)
 - 6.ネットワーク分析(最短経路検索) ※余裕がある方のみ
- 2/8(金) : 3～5限
13:00-17:00 実習 : ラスタデータ分析入門
 - 1.空間データの作成・編集・統合・変換 (ラスタのみ)
 - 2.地形情報の可視化(ラスタデータの分析)
 - 3.GRASS GIS: 流域解析(ラスタデータの分析)
 - 4.空間補間 (TIN- IDW)
 - 以下は、余裕がある人のみ
 - ジオリファレンス
 - ジオコーディング

(裏面へ続く)

実習の注意事項

- 実習は、冒頭で概要と課題の簡単な説明をした後に、受講者が教材を参考に学習を進める形式で行います。実習ごとに、オンライン教材（[GIS実習オープン教材](#)）を用いて学習した後、指定された課題を行います。
- 課題は、実習と対応した地図の作成と設問への回答です。1回の実習で3～5枚程度の地図の作成と提出が必要です。課題として作成した地図画像は、ファイルにまとめて **右クリック>圧縮し、zipファイルにしたものを提出してください。**
- 実習終了後、アンケートに回答してください。このアンケートの結果は、個人が特定できないように加工した後に、学習効果の評価や教材の改良等に利用します。課題の提出もアンケートフォームから行います。アンケートは、Googleフォームを利用するので、Googleアカウント（東大のメールアカウントに紐付けられたもの）を準備してください。
- 各回、教材と対応した実習用データを配布します。初回の実習以外は、**空間座標の変換作業** が必要な場合があります。
- 各実習の詳細は、使用するデータとともに、各実習日に公開します。
- 実習を行う際には、各回の注意事項を確認したうえで、進めてください。

実習用データ

実習用データは、当日USBで配布します。このデータは、初回の実習以外、座標変換をして利用する必要があります。